

③ インフラの老朽化によるトータルコストの増大及びサービス低下を防ぐための戦略的な維持管理・更新の推進

● インフラを守る

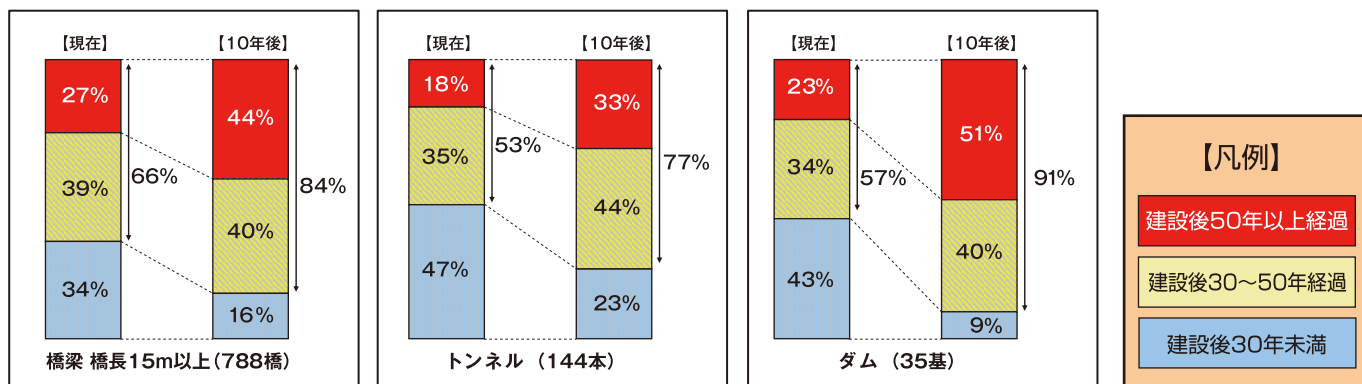
1 維持管理計画

問合せ先 建設企画課

定期点検で的確な保全措置を行う「予防保全的手法」を導入した維持管理計画に基づき、橋梁やトンネルなどのインフラの長寿命化を図り、次の世代に引き継ぎます。

これまでに整備した大量の公共土木施設等のストックが時代とともに老朽化し、維持・更新費の増大が想定されます。限られた財源の中で、いかに本来の機能を維持し、長期に活用していくかが重要な課題となっています。

橋梁・トンネル・ダムに関する「現在」と「10年後」の建設経過年の比較



長崎県では、不具合が生じてからの補修ではなく、「**予防保全的手法**」を導入した効率的かつ計画的な維持補修を行うための維持管理計画を策定し、施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図り、次世代に社会資本を引き継ぎます。



橋梁の定期点検状況

「長崎県の維持管理計画」策定状況

対象施設	施設数量 (R8.4月現在)	計画策定年度
橋梁	2,130橋	H19 (R6改訂)
道路斜面等	2,212箇所	H20 (R6改訂)
舗装	2,453km	H20 (R6改訂)
トンネル	144本 L=62.8km	H22 (R6改訂)
鋼構造物	218施設	H21
コンクリート構造物	2,200箇所	H23
海岸	378km	H25
護岸・堤防・水門	376河川1,163km	H22 (R7改訂)
	水門等109施設	
ダム	35基	H24
砂防関連施設	砂防908箇所	H30 (R7改訂)
	急傾斜866箇所	
	地すべり109箇所	
公園	5公園	H25 (R5改訂)
公営住宅	505棟	H23 (R4改訂)
空港土木施設	5空港	H26 (R2改訂)

「予防保全的手法」とは？

定期点検で的確な保全措置を行うことにより、大規模な損傷の発生や劣化の進行等を未然に防止すること。

この予防保全の実施により、効率的かつ経済的なインフラの長寿命化が可能となる。

2 トンネルの維持管理

問合せ先 道路維持課

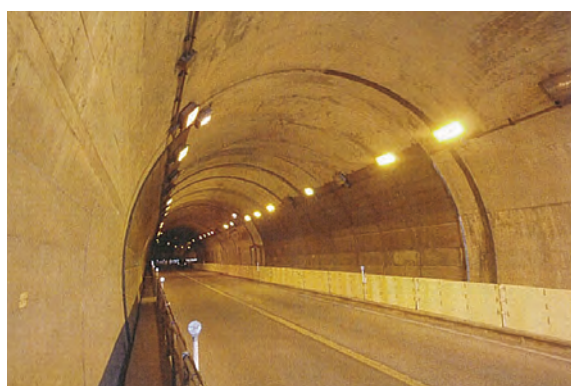
長崎県が管理するトンネル144本について、令和7年3月に改訂した「長崎県トンネル維持管理計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、トンネルの長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



補修は、早期措置段階（健全性Ⅲ）のトンネルを優先着手し、その後は予防保全段階（健全性Ⅱ）のうち補修の優先度が高いトンネルについて順次着手します。

また、法定化された定期点検により、トンネルの状態を的確に把握し、適切な維持管理を行っています。

〈一般国道202号長崎市京泊（京泊トンネル）〉



更新前



コスト削減のために、照明のLED化を行いました。

更新後

3 橋梁の維持管理

問合せ先 道路維持課

長崎県が管理する2m以上の橋梁2,130橋について、令和7年3月に改訂した「長崎県橋梁長寿命化修繕計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、橋梁の長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



補修は、早期措置段階（健全性Ⅲ）の橋梁を優先着手し、その後は予防保全段階（健全性Ⅱ）のうち補修の優先度が高い橋梁について順次着手します。

また、法定化された定期点検により、橋梁の状態を的確に把握し、適切な維持管理を行っています。

〈主要地方道佐々鹿町江迎線 佐世保市小佐々町 楠泊橋〉



補修前



橋を長持ちさせるため塗装を塗替えました。

補修後

4 港湾施設の維持管理

問合せ先 港湾課

長崎県が管理する港湾施設について、「長崎県港湾施設（鋼構造物）維持管理ガイドライン」及び「長崎県港湾施設（コンクリート構造物）維持管理ガイドライン」により、効率的かつ計画的な維持管理を行い、港湾施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図ります。



鋼管杭の肉厚測定状況



定期点検状況

補修は、施設の健全度や社会への影響の大きさをもとに算出した「整備の優先度」に基づき、施設ごとに維持管理計画書を作成し、その計画に沿って実施しています。

また、法令に基づく定期点検を行うことで、施設の不具合や劣化の発生・進行を早期に発見し、効率的かつ適切な維持管理に努めています。

〈相の浦港夏井地区（浮棧橋 C）〉



更新前



更新後

浮棧橋を長持ちさせるため、塗装や舗装を塗替えました。

5 ダムの維持管理

問合せ先 河川課

長崎県が管理する35ダムについて、令和7年4月に改訂した「長寿命化計画」の基本方針および維持管理方針に基づき、更新・対策の優先順位を判断した上で、トータルコストの縮減・平準化を考慮し、計画的に維持管理を行います。



ダム内施設の点検状況

ダム操作規則に定められたダム点検整備基準や調査測定基準に基づき点検・計測等を実施し、ダムの状態を把握しています。

これらの結果を総合的に評価した上で、必要な更新・対策を実施し、ダム施設の安全性および機能を長期にわたって保持するとともに、貯水池機能を保全するよう努めています。

〈福江ダム（放流ゲート）〉



更新前



更新後

防錆のために、放流ゲートの塗装を行い、設備の延命化を図りました